



加藤みどりさん

今回は埼玉県狭山市で10年以上もの長きに亘って英語活動支援員として勤務され、小・中連携を見据えた市のカリキュラムを最大限に生かしながら、担任の先生主導の授業を日々サポートされている加藤さんの実践報告です。

■ J-SHINE資格を取得した経緯

学生時代に経験したスピーチやドラマを通して知った英語の楽しさを、子どもたちと分かち合い、コミュニケーションの大切さを一緒に学ぶために、2000年に自宅で英語教室を開講しました。その後、小学校での英語活動が各地で始まり、狭山市は特区になり、支援員の募集がありました。子どもたちの初めての英語との出会いを少しでも楽しいものにできたらと思い応募し、市の研修を経て、2003年9月より勤務させていただいています。最初は教材も充分とは言えず、一からのスタートでしたが、先生方と力を合わせて準備し、やりがいを感じました。何よりも、子どもたちが大変興味を持って取り組んでいたのが励みになりました。

アルクの児童英語教師養成講座やJ-SHINEの研修を通して沢山学ばせていただき、2006年に小学校英語指導者資格を、2009年に上級を申請しました。資格取得を目指すことで、日々の活動を振り返り、気持ちを新たに進めていくことができました。

■ 活動状況

狭山市では、1、2年生は年間10回、3～6年生は35回（週1回）の活動に取り組んでいます。カリキュラムは「狭山市小学校英語活動指導資料」を基準としています。活動のねらいは「英語によるコミュニケーションへの興味関心を高め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、その結果としてコミュニケーションの基礎が身に付くこと」です。昨年度、市が実施した児童の意識調査では、英語に対する興味関心の高い割合が89%でした。現在では、担任の先生が主導で、将来は担任の先生のみで行う活動を目指しています。

学校の規模により勤務日数は異なりますが、私は週3回3学年9クラスを担当しています。支援員の役割は、レッスンプランの作成補助、教材の準備、発音指導等です。担任の先生は、デイリークエスト、前回の復習、スキットのやり取り、日本語での内容補足等が役割です。そのクラスに合った進め方は、担任の先生が一番良くご存じですので、プランを広げてくださったり、工夫を加えてくださることは、支援員にとっても大変勉強になります。学期ごとに、各学年1～2回のALTとの活動もあり、子どもたちは楽しみにしています。通常、担任の先生、支援員も加わり、3人で行います。連絡を密に取り、担任の先生や支援員の要望にも応えていただいています。

5、6年生は“Hi, friends!”を、カリキュラムに加えながら活用しています。映像を通して各国の様子も見ることができ、音声を通してリスニング力の強化にも繋げることができると思

ます。また、当校では、高学年中心に年間50個程の動詞を導入しています。同じ学区の中学校で使っているカードと同じものを活用しています。勿論、教え込むのではなく、動作をしながら、自然に身に付くことを目的としています。毎回5分程度の練習ですが、繰り返すことで、中学で出会う動詞に親しみを持たせることができると思います。小学校の活動が中学の英語へとスムーズに繋がっていくためには、小中の連携は不可欠です。狭山市では、支援員も小中学校の合同研修会や、他校の授業を参観させていただく機会があります。それらを通して、小学校の英語活動に対する要望を聞くことができ、活動をより良いものにするためのヒントを見つけることができ、大変有意義です。

児童は1年生から英語に親しんでいますので、中、高学年では挨拶やデイリークエストもしっかりでき、英語での指示についても理解が容易になっています。狭山市では定着よりも慣れ親しむことを目標にしていますので、教え込むような練習や単調な繰り返しを避け、リズム良く、自然に音や英語特有のイントネーションが身につくことを念頭に置いています。アクティビティーに関しては、学年に合わせて工夫し、思うようにならなかった時には、担任の先生からも沢山のヒントをいただき、改善するように努めています。子どもたちが楽しそうに、活発に取り組んでいる時が、大変嬉しい瞬間です。また、黒板に書いた英文を読もうとしたり、綴りを真似して書こうとしたり、一所懸命発表しようとしていたり、児童の持っている興味、やる気に触れた時、支援員としての喜びを感じるとともに、その興味や、やる気に応えられるようにもっと頑張りたいと思います。

■ 今後の目標

内外の研修は、それぞれの学校で活動されている先生方と情報交換できる大切な機会であり、独りよがりにならないように、より広い視野に立たせてくれる場所でもありますので、今後も積極的に参加していきたいです。そして、その時々の英語活動に求められていることをきちんと受け止め、支援員としての役目を認識し、関わっていきたくと思います。

狭山市では、子どもたちはこの10年余りで、たくさんの英語に接し、力をつけてきました。将来に向けて、この力がコミュニケーション力の土台になるように、今後も児童の興味、関心を引き出せるような英語活動を目指して、担任の先生方と協力して進めていきたいと思っています。そして、頂いたJ-SHINEの資格を励みに、自分の英語力、指導力を高めることができるように、一層の努力をしていきたいと考えます。